

みしまコロッケ新聞

第 13 号
平成 22 年 1 月
みしまコロッケの会
認定店様

認定店の皆様へ毎月お届けします。

昨年は、皆様にご協力をいただき「みしまコロッケ」を盛り上げることができました。ありがとうございました！今年も、より一層頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

地域のグルメから全国版グルメへ向けて

新年のご当地グルメ対談（伊豆日日新聞 新年号）に
みしまコロッケの会・諏訪部会長のコメントが掲載さ
れていましたので紹介します。（抜粋）



司会者：「富士宮やきそば」はPR戦略がうまいなあと感心しました。皆さんはいかがですか？
それぞれ戦略をどのようにお考えですか？三島の諏訪部さんはいかがですか？

諏訪部会長：三島市は食育を推進している。小池政臣市長の「三島は優秀な農作物がたくさん採れるので、それを生かしたまちづくりを」との発案でスタートしました。その中でも「全国区でグランプリをとっている三島馬鈴薯（メークイン）を使用したい」ということから「みしまコロッケ」になりました。最初は生産者の中には「A級品の三島馬鈴薯をB級グルメに使うのはどうか」という声がありましたが、「A級素材を使った高級なコロッケです」と言って、PRしたことが「みしまコロッケ」をブレイクさせた要因になったのではないかと思います。今後もマスコミに「面白い」ということで取り上げてもらえるように、売り込んでいきたいと思っています。

巨大コロッケ日本一に挑戦！！

三島商工会議所青年部の15周年記念イベントとして、今年7月に行われる「三島馬鈴薯・みしまコロッケまつり」の中で「巨大コロッケ日本一」に挑戦します。“夢”というテーマで持ち上がった企画で、「子供たちに夢を持ってもらえる企画はないか」とスタートしました。巨大コロッケが成功すれば、直径2.5メートルにもなる日本一の大きさになり、鍋はなんと直径3メートルになるそうです。原料となる馬鈴薯は地元の子供たちが植付けや収穫を、栽培は田方農業高校生徒が行います。“夢”をテーマに大人も子供も参加し、地域が一つになって取り組んでいます。この素晴らしいイベントを皆さんで盛り上げ、より多くの方に日本一挑戦の過程を知って頂きたいものですね。

みしまコロッケの会 全体会の開催

日時 平成 22 年 2 月 4 日(木)
15:00 ~

場所 三島市役所大社町別館
1 階 防災研修室

内容 ・来年度運営方法と戦略について
・その他

是非、ご参加ください！